

I.S (平成 28 年 3 月初期研修修了)

私は当院で 2 年間の初期研修を行い、現在は呼吸器内科後期研修医として勤務しております。初期研修に引き続き当院で後期研修を行いたいと感じた理由は多くありますが、どの科も非常にアクティブであり刺激があること、各科の垣根が低く他科の先生にも非常に相談しやすいこと、指導熱心な先生が多いことが特に大きな理由です。当科においても肺癌や肺炎はもちろん、急性呼吸不全の集中治療管理や喘息・COPD のコントロール、間質性肺炎など、様々な疾患の患者さんを受け持ち、忙しい毎日です。

また、3 年目の後期研修医は ER 当直業務も行います。当院の ER は初期研修医と 3 年目後期研修医を中心に運営されていますが、「血压が高くて心配だ」と歩いて訪れる高齢者から、交通事故にあい救急車で来院する若年者、救急外来ですぐに気管挿管が必要になる呼吸不全患者など、様々な患者さんを受け入れています。重症から軽症まで受け入れ、主に初期研修医が中心に診療を進めていきます。3 年目後期研修医はもちろん診療も行いますが、初期研修医の診療の最終確認を一緒に行い、ER 診療を監督するのが主な仕事です。当院は救命科、麻酔科、内科、外科、循環器内科、脳神経外科・神経内科、産科等、各科の医師が常駐で当直をしており、ER からのコンサルトをいつでも受け取ってもらえるため、ER も安心して診療を行うことができます。ER 業務を通じて研修医や他科の先生と交流することで、当院の魅力である垣根の低さが生まれるとも感じています。ER の症例は非常に多彩であり、初期研修を終えた今でも、自らの専門とする科以外の疾患や手技、初期対応を学べる貴重な場です。

当院は敷地こそ狭いですが、その中に非常に多くの患者さん、スタッフが集まる活気のある病院です。忙しいですが、楽しく充実した日々になることを保証します。少しでも興味を持たれましたら、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。

K.Y (平成 27 年 4 月初期研修開始)

この度は当院のホームページをご覧頂きありがとうございます。私の経験が皆様の研修病院選びの一助になれば幸いです。

私は現在初期研修医 2 年目として勤務しています。自分の人生を振り返ってみてもこの 1 年 6 ヶ月ほど時が早く経った期間はないと思います。それほど充実した研修期間でした。

さて、皆様は研修病院を選ぶ際の基準として何を重視されますか？救急医療の充実、手技の数、適度な忙しさ、給与面、病院立地、指導医との関係性…。当院は非常に高いレベルで、そしてバランス良く上記に挙げた要素が備わっています。研修医 1 年目から救急外来では頭痛、腹痛、吐血、四肢脱力 etc の多彩な症例を自分で考えながら診療する機会を多数与えて頂き、上級医から適切なアドバイスを頂きながら研鑽を積むことができます。また、オン・オフもしっかりしており、休日にしっかりとリフレッシュあるいは勉強してインプットを重ねて日常診療でアウトプットを継続するという良い循環ができており、とてもバランス

が優れた病院だと感じております。私は、初期研修は医師としての確固たる「地盤」を作る期間だと考えておりますが、当院は幾年経っても揺るぐことのない地盤を築ける病院だと自信を持ってお勧めします。

もちろん当院以外にも同様に優れた病院はありますし、実際このホームページをご覧になっている皆様もおそらく他の病院といくつか迷っている事でしょう。

かくいう私もそうでした。最後の決め手として皆様にオススメするのは一度当院の見学に来て複数の研修医とじっくり会話してみることです。実際に話す事で自分と病院との相性や様々な事が見えてきます。是非、一度活気溢れる当院へお越しください。そして一緒に働ける日が来る事を心待ちにしております。

T.S (平成 28 年 4 月初期研修開始)

医学生の皆様、当院ホームページをご覧頂き、有難うございます。これから研修病院を検討する皆様にとって、このページが少しでも参考になれば幸いです。

初期研修の 2 年間は、ある程度自分で治療方針を立てられるようになるための時間だと思います。当院では、ER での診療を初期研修医が中心となって行っており、どのような検査をするか、どのように治療するかを自分で考える機会に恵まれています。迷うことももちろんありますが、各科の先生方のバックアップ体制がしっかりしているので、まず自分で考え、それでよいのかフィードバックを得ながら診療を進めていくことが出来ます。また、毎週土曜日の午前には ER カンファレンスで症候別、各疾患別の初期対応を学びます。実際に経験する場と学習する場の両方が確保されていることは、当院で研修するメリットだと思います。私が当院での研修を希望した最も大きな理由もそれでした。また、研修先を選ぶうえでは、病院の雰囲気も大切な要素です。当院には教え好き・教え上手な先生が多いのでどんなことでも相談しやすいですし、研修医指導センターの先生方も研修医の意見を反映させようとして下さるなど、研修医を育てるという考えが根付いている病院ではないかと思えます。

ここまで、私から見た当院の長所を書かせて頂きましたが、もちろん短所もあります。どこの病院も多かれ少なかれ同様かとは思いますが、診療科が全て揃っているわけではありませんし、全科で十分な診療体制が整備されているわけではありません。そのため、どうしても症例が偏ったり、救急の受け入れを断らざるを得ないこともあります。それでも私が当院での研修を希望したのは、「志望科を考えれば、短所は私にとってはさほど問題ではないから、長所に目を向けてここで研修したい」と思ったからでした。

最後まで読んで頂き、有難うございました。当院に少しでも興味を持って頂けたなら、是非見学にお越し下さい。そして、研修先として当院を御検討頂ければ幸いです。

T.T (平成 28 年 3 月初期研修修了)

学生の皆様は臨床研修に何を求めますか？それは一人一人違うと思います。

また全国に 1000 を超える臨床研修病院があり、それぞれに長所と短所があります。選択肢が多いと余計に悩みが多くなるものです。病院の選び方として私なりのお勧めを紹介します。自分にとって、これだけはやりたいと思う希望を 1 つ、そしてこれだけは譲れないと思う点を 1 つ挙げてみましょう。それをしっかりと自覚した上で病院の条件を見ると、案外候補が絞られてきます。それでも第 1 志望が決められない…という方は多いと思います。救急科志望だった学生の私は、様々な施設に見学に行きましたが、正直どこ施設も長所短所があつて、結局大差はありませんでした。悩んだあげく最終的には私は自分の“フィーリング”を信じ、マッチング登録締め切り 1 週間前に第 2 志望で登録していた当院を第 1 志望に登録し直して、幸い当院にマッチングしました。研修医を終えた今言えること、それは自分が素直になって良いと思ったことは、結局良かったと実感しています。

あらゆる学生にとって良い病院なんてこの世にありません。病院説明会や病院ホームページなど病院の情報を得られる機会は多いと思いますが、気になっている病院があればどんどん見学に行くことをお勧めします。実際に行ってみて知ることは多いと思います。機会があればぜひ当院にも足を運んでください。きっと当院の研修医が優しく対応してくれるはずです。

O.H (平成 27 年 4 月初期研修開始)

まず初めに当院に興味を持っていただき、ホームページを見ていただきありがとうございます。私の話が病院選びの参考になれば幸いです。

大阪警察病院に入職して早 1 年が経ちました。早く社会人として医療人として成長しようと、とにかく必死にやってきたので、あつという間だったなというのが素直な気持ちです。ひたすら前だけを向いていたので、いま振り返ってみると、様々な経験をし、成長してきたんだなと感じております。特に新しく入ってきた研修医 1 年目の先生を見ていて思います。1 年という短い時間でここまで成長してこられたのは、何より院長先生を始めとして病院全体が研修医に対して協力的であり、日々研修内容の改善に取り組まれている結果だと感じています。おかげで研修医は日々の研修に全力を尽くすことができます。私がこの病院に決めた 1 番の理由は、病院見学時に環境の良さ、職場の雰囲気の良いを感じることができたからです。そして、その感じた雰囲気は入職してからも間違っていなかったと感じています。

ここまでは良い話ばかりですが、ひとつだけこの病院には欠点があると思っています。それはとにかく狭いということです。大学病院などの大病院に比べるとめちゃくちゃ狭いです。ただ、この狭さという欠点も捉え方によっては利点になるだというのがこの病院のスタンスです。というのも、狭いスペースをどのように使うと効率が良く、より良い診療ができるのか考えられています。自然と職員は効率良く動き、テキパキと仕事をするようになりま

す。また総合医局にすることで診療科の垣根が低く、上級医と接する機会が多いため、気軽にコンサルトができます。悪口もすぐ聞こえます。注意が必要です。

このような環境で研修医は日々忙しいながらも切り替えを大切にし、仕事するときは全力で、遊ぶときも全力です。みんな仲良く、時にはケンカもしますが、それぞれがやりがいを持って助けあい、患者さん一人ひとりと向き合いながら、研修しています。

どうですか。少しでも当院のイメージができたでしょうか。気になった方はまず気軽に当院の見学に来てください。今からでも遅くはありません。是非当院の活気ある雰囲気を感じてみてください。そして、一緒に働きましょう。

H.Y (平成 28 年 4 月初期研修開始)

当院の HP にご訪問いただき誠にありがとうございます。このページをご覧になった皆さんにとって研修病院選びの一助となり、ひいては皆さんが少しでも当院に興味を持っていただければと思っております。

今見てくださっている医学生の皆さんは初期研修での目標は何でしょうか？私は学生時代勉強が出来る方ではありませんでしたので、研修医になったらきちんと考えることのできる医師になりたいと思っていました。もちろん手技を数多く経験し上達することも重要です。CV を留置したり、A line を取ったり、挿管したり etc…。ですが、採血一つとっても何かしらの意味があり、その意義をきちんと理解して初めて患者様の命を預かる責務を果たしていると思います。私も 4 月から研修をスタートした身で右も左も分からない状態でこのようなことを言うのはおこがましいですが、当院での研修プログラムでは医師としての思考力が徹底的に鍛えられ、着実にステップアップを自覚できます。というのも上級医の先生方がしっかりとフォローしてくださるので、「自分で一度整理して検査計画や治療計画を立てる」→「修正すべきところを上級医の先生に指摘してもらえ」→「次の自分の診療に生かせる」というサイクルがあるからです。実際私や同期の研修医もこの一ヶ月だけでも医師になる前に比べて成長したことを実感しています。

話は変わりますが、私が当院での研修を希望した理由は「自分が研修をしたい雰囲気の病院だから」です。今ここを見てくださっている皆さんは、大半が医学生ではないかと思いますが、国家試験の勉強や実習あるいは卒業試験に忙しくて、病院選びにまで割く時間がなかなか取れないのではないのでしょうか？実際に学生時代の私はそうでした。じっくり病院ごとの特徴を調べるといよりは、友人や先輩の評価を参考にして当院を見学しました。そこで各科の先生とお話をさせてもらったり、研修医の先生方と一緒に ER カンファレンスに参加させてもらって「この病院しかない！」とフィーリングだけでマッチングを志望しました。2 年間過ごす職場は雰囲気もとても重要な要素です。というわけで、皆さんも研修病院先を決める際には是非一度見学に来て下さい！

最後に、ここまで文章を読んでいただき有難うございます。きちんと一人前の医師として働

けるのだろうか？という不安は医学生なら誰しもあると思います。当院の研修では、日々新たな力を身に付けるチャンスに溢れていますので、そういった不安を自信に変えていくことが出来ます。ここを見てくださいている皆さんと共に働く日を心待ちにしております。

K.A (平成 27 年 4 月初期研修開始)

学生の皆様、大阪警察病院の HP をご覧いただきありがとうございます。
このコメント欄をご覧になっているということは、当院での研修を検討されている方、あるいはどんな研修病院が良いのか分からず、色々な病院を探されている方かもしれませんね。そんな皆様に、少しでも参考になればと思い、この文章を書いています。

研修医になると事ある毎に、「どうしてこの病院で研修することにしたの」と尋ねられます。そんなときはいつも、「初期研修では救急対応を重点的に学びたいと思い、ER 研修が充実しているこの病院を選びました」、あるいは「週 1 回の ER・総合診療カンファレンスが魅力的だったので」と答えることもあります。

これらはもちろん本当です。ですが、それ以外にもこの病院を選んだ理由があります。それは研修医だけでなく、医師、看護師、病院スタッフ全体として、研修しやすい雰囲気のある病院だなと感じたからです。正直なところ、私はそれほど積極的にグイグイいけるタイプではありません。そんな自分でも、「はいっ、先生、これやって」などと言われるとやらざるを得ず、自然といろいろなことを経験することができます（最初のうちは特に、言われるがままというのを否めませんが）。そんなことを言っても最初のうちはうまくできず、失敗することもたくさんあります。そんなとき、研修医をバックアップしてやろう、面倒みてやろうと思って下さるスタッフの方々がたくさんいます。そして失敗して落ち込んでいるところを励まし合い、切磋琢磨できる仲間がいます。そんな環境があるのもこの病院の良い特徴ではないでしょうか。

しかしながらこのような私の文章を読んだところでなかなか実際の様子はわかりません。というわけで、学生の皆様、当院の雰囲気を実際に感じてみませんか。病院見学にお越しただけの楽しみをしております。

T.T (平成 27 年 4 月初期研修開始)

大阪警察病院の HP をご覧いただき、誠にありがとうございます。現時点での僅かながら大阪警察病院での初期研修医としての経験を述べることにより、皆さんの初期研修先を決めるきっかけとなれば幸いです。

私が大阪警察病院に初期研修医として入職して一ヶ月ほど経ちました。最初の一ヶ月はというと、問診や、静脈採血・ルート・血液ガスなどの手技、また患者との病棟でのコミュニケーション、看護師との連携に慣れてきた頃です。そして 5 月の GW が終わり ER 当直

を経験します。ER 当直とは何か、想像が付きにくいでしょう。どの様な事をするかという簡単な説明をさせていただくと、胸痛や腹痛などを主訴で来院された患者の診察を上級医の先生の指導の下で初期研修医が主となっておこない、その患者の診断をします。入院時からではなく最初から患者を診察するということに対しての難しさを理解し、自分の力不足を自覚すると共に、診察能力を向上させたいという思いが強くなる経験となります。

この文章を読んでいただいている多くの方は、医学生であると思います。それも5・6回生で病院実習を経験しており、初期研修先としてより良い病院を探している医学生ではないでしょうか。「手技を丁寧に教えてもらえ、かつ実際にさせてもらえる」、「common diseaseを多く経験できる」、「病院全体での患者への接し方の雰囲気が良い」、「初期研修医への講義や指導が熱心である」といった項目で初期研修先を探していることでしょうか。実際、私自身が一年前そうでした。大阪警察病院はどうかというと、先ほど挙げた項目が全て揃っている病院だと私は思います。今も日々それを実感している最中です。各診療科の部長先生をはじめ、後期研修の先生方も患者への医療に対して真摯に向き合っており、熱心に初期研修医への指導をして下さいます。また、ほぼ毎週、初期研修医同士でのカンファレンスが行われており、他病院では経験することが少ないであろう ER で実際必要な知識の共有をしています。そのカンファレンスでも上級医の先生方の指導があり、各科指導医によるプライマリケア講義もあります。

以上で述べた通り、大阪警察病院は初期研修をする上で優れた教育・指導環境を提供しています。未だに一ヶ月ほどしか初期研修を経験していない立場から、この様なことを申し上げるのは恐縮ですが、医師になる上で皆さん誰しもが優秀な一人前の医師になりたいと考えていると思います。私自身、例えば、「自分の親を先生に治療して欲しい」と他の方々から信頼をおいてもらえるほど、患者への医療に真摯に向き合う優秀な一人前の医師になりたいと思っています。まだまだ道のりは長いですが、大阪警察病院で初期研修をしていることで、初めの一步を確実に踏み出せていると思います。そう思えるほど、大阪警察病院での初期研修期間は魅力的です。

文章を最後まで読んでいただきありがとうございます。是非、大阪警察病院で初期研修をされてはいかがでしょうか。皆さんと来年の春から共に働き、切磋琢磨し、患者に熱心かつ真摯に向き合ったチーム医療をおこなえる事を楽しみにしています。

N.S (平成 26 年 4 月初期研修開始)

学生の皆様、HP を見て頂きありがとうございます。

この文章を読んでいるということは、大阪警察病院での初期臨床研修を少なからず考えて頂けていることと思います。

僕はこの大阪警察病院で初期臨床研修医として働き始めてからはや 1 年が経ち、現在も診察や手技、そして患者への説明など、医師としての基礎を学んでいるところです。自分自身

が学生であったときのことを振り返ると、色々な研修施設がある中で警察病院を志望した理由として一番大きかったのは、やはり ER 診療を初期臨床研修医が中心となって行っている、そしてそれによりプライマリケアをしっかりと身につけることができる研修が行える、という点でした。しかし、実際に ER 診療がどのようなものであるか、ということに関しては、今考えてみるとほとんどわかっていなかったように思います。

ER 診療では急性期から慢性期の病態にある様々な患者の診療にあたります。中には緊急での処置や手術などの対応が必要な患者が搬送されることもしばしばあり、学生の頃には1年目や2年目で診療するとは思ってもいなかったような重症患者の対応を数多く経験します。もちろん初めは何からどのように手をつけたらいいかわからないことも多々ありますが、常に上級医の先生方の心強いバックアップがある状況が整っているので、自分が患者を診ているという責任を伴いつつも、安心して診療を進めることができます。

…と思いつくままに考えたことを書いてはみましたが、正直なところ僕の拙い文章も相まって字面だけではあまり伝わらないと思います。少しでも警察病院での研修に興味を持って頂けたのならまず病院見学に来てみて、実際に自分で見て感じるのが一番だと思います。ここでは伝えきれないような ER 診療やその他の魅力、充実した研修生活について感じてもらえるはずです。是非とも見学に来て雰囲気を感じ、僕たち研修医と話をしてください。普段の生活や金銭面の問題など学生の皆様が気になるどんな質問にも包み隠さずお話しします。皆様にお会いし、研修医生活についてお話できるのを楽しみに待っています。

N.T (平成 26 年 4 月初期研修開始)

私がこの警察病院に研修医として働き始めて1ヶ月ほどが経ちました。1週間のオリエンテーションの後、右も左もわからない状態で外科を回り始め、ようやく慣れてきて落ち着いてきたところです。たった1ヶ月でと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、この1ヶ月で感じたことは、学生の時に見学で来させていただいたり、警察病院で働いている先輩方の話を聞いたりして総合して思っていた印象とかなり一致しているなと思いました。

その印象とは、活気に満ち溢れている事。患者さんが多く、先生方も忙しくしている。ただそこで1人1人が忙しいからといって個人個人の仕事だけに没頭するのではなく、先生同士や他の多種多様な職種の方々と治療方針やトラブル時などに連携がしっかりとれていることが素晴らしいことだと思います。正直他の病院も同じようなことは出来ていると思いますが、このすごく忙しい病院で出来ていることが大事で、それによってまだまだ未熟な私たち研修医も上級医の先生方の姿を見てさまざまなことを吸収し成長することができるのだらうと感じています。

他には、私自身は ER が始まって間もないですが、この病院で研修すれば間違いなく ER に強くなれると思います。身近ということもあって研修医2年目の先生方からさまざまなアドバイスをもらうのですが、たった1年でここまで急患を診る力がつくのかというくら

いの差を感じます。もちろん勉強は必要ですが、患者さんが多く経験を積めるのが強みだと思います。

まだまだ書ききれないので、あとは見学や説明会で積極的にどんなささいなことでも聞いてください。先生方が丁寧に答えてくれるはずですよ。私自身それができず後悔したのでみなさんは気を付けてください。このコメントが初期研修を考える際の手助けになれば幸いです。

N.K (平成 26 年 4 月初期研修開始)

学生の皆さん、大阪警察病院のホームページをご覧頂きありがとうございます。

私が警察病院での研修を希望したのは、学生の時の実習でお世話になった際雰囲気がとてもよく、すべての職種のスタッフがいきいき働いておられるのをみて私もここで働きたいと思ったことがきっかけでした。もちろん指導体制も整っており、ER では研修医 1 年目が初めに診察し、上級医の先生が常にバックアップについてくださいますし、各科の研修では後期研修医の先生が初期研修医に 1 対 1 で指導してくださいます。

まだ働き始めて 1 ヶ月ほどですが学生の時に思ったとおり、活気があって、毎日楽しく働いています。上級医の先生にも気軽に質問できますし、困っている時には必ず助けて下さいます。警察病院のドクター、コメディカルの方々は皆教えるのが好きで、かつ教え上手な方が多いと思います。同期もやる気に満ちあふれている人ばかりでよい刺激になっています。これから 2 年間同期と切磋琢磨していくのが楽しみです。忙しい病院でプライベートの時間があまりとれないというのも本音ではありますが、それ以上に研修で得られるものも多いと感じています。

少しでも興味を持って下されれば、是非一度大阪警察病院に見学に来てみて下さい。1 日だけでもいい雰囲気を感じてもらえると思います。

S.H (平成 26 年 4 月初期研修開始)

この大阪警察病院で始まった研修医生活も、一ヶ月あまりが過ぎようとしています。正直なところ、誰しもはじめはわからないことだらけ、不安だらけ、そして失敗も沢山します。そうと予め分かっている、本当に医師として、やっていけるのだろうか、私も例外なくその不安を感じていました。そのような中で、一番の支えだったのはやはり二年目、三年目の先生方の存在でした。病棟での業務、カルテオーダー、手技、様々な場面での医学的な知識等々、、初めはささいな診察や静脈・動脈採血もなかなか緊張してうまくいかない中(今もまだまだ未熟ですが)、いざという時に相談できるお兄さん・お姉さん気質の先輩研修医の方々が多く、私自身、さりげなく院内の PHS や医局で雑談しながら相談させてもらったり、また逆に先輩の方から積極的に手技等を学ばせていただけたりする機会も多々ありました。

このような環境があり、またさらに上級医の先生方やコメディカルスタッフの皆さんも連携を取りながら私達を温かく支えて下さることで、今のところ消極的にならずに日々の仕事に立ち向かえているのかな、と感じています。

毎日一つでもできるようになることが増えるように、この目標はもちろんのことだと思います。しかしそれに加え、今の先輩研修医の方々のように、来年の後輩にしっかりと教えてあげられるような存在になる努力をする。そういった思いも常に意識しながら、日々研修させていただいています。

I.A (平成 25 年 4 月初期研修開始)

警察病院に研修が決まった 2012 年 10 月末、私の大学では卒業試験真っ最中でした。忙しいけれど充実した研修体制が整っている、との評判の高いあこがれの病院で研修できることに、嬉しい気持ちもありつつ、正直なところ「決まっちゃったけどほんまにわたしがやっていけるんやろうか…」という不安の方が強く、翌日の試験勉強が全く手につかなかったことを思い出します。

その不安を引きずりながら入職し、初めての診療科は日中の ER。初日だし、まずは点滴を取ったりするのかな？と甘いことを考えていた私。最初の患者さんは頭部打撲。2 年目研修医の先生に「じゃ、何やるの？」といきなり聞かれ一瞬思考停止。オーダーの出し方をひとつひとつ教えて頂きながら一通り診察、検査を済ませ、事前に一言一句確認してもらい、どきどきしながら病状説明して帰って頂いた後、上級医の先生からの「医者なんやから、方針を決めるのが大事な仕事やで」という言葉に、まだまだ学生気分だった私は反省させられました。

当直業務でも ER を始めてから半年。少しずつ慣れてきたとは言え、「この方針で大丈夫かな？」と不安になることも多いです。そんな私を温かく見守ってくれるのが先輩研修医の皆さん、そして上級医の先生方、優秀なコメディカルの皆さんです。研修病院で ER を売りにしている病院は多いですが、症例が豊富で、検査や手技がスムーズにでき、一通り治療計画を立てた後に上級医の先生がきちんとバックアップして下さる体制が整っている、という病院は数少ないのではないかと思います。警察病院はそんな数少ない恵まれた病院であると実感する毎日です。一晩の当直でも器質的疾患が何も無い腹痛から敗血症、多発外傷まで経験することも多くありますし、診察している間に先生方のサポートが入るのはもちろんのこと、診察後も「これはこうした方が良かった」とアドバイスして頂け、かつ同期のみんなとも「こんな症例来たんや」「このときなんでこの検査したん？」とディスカッションし合うこともあり、1 回の当直でもかなり勉強になることは多いです。早く、憧れの先輩方に近づきたい、追いつきたいとまだまだ精進の日は続きます。

目の前で苦しんでいる患者さんを「自分の科じゃないから関係ない」とは言いたくない！そんなあなたは是非警察病院に見学に来てみて下さい。

K.K (平成 25 年 4 月初期研修開始)

私が大阪警察病院に就職してから早くも半年が過ぎようとしています。半年働けば少しは上級医の先生方の力になれるだろうと思っていましたが、自分の成長を実感する一方で、まだまだ自分の至らなさを実感するばかりです。

世間の医学生が大阪警察病院に抱く印象は、もちろん好意的なものも多いかとは思いますが、基本的には「忙しくあまり休めない、給料のあまり良くない病院」かと思います。実際その点に関しては完全には否定できません(笑)。ただ、個人的には、将来医師として生活するにあたってその土台となるのは初期研修であり、その密度が濃ければ濃いほど充実した医師生活を送ることができるだろうと考えています。そして当院でその密度の濃い初期研修を支えてくださるのが、親身に、ときに厳しく指導してくださる上級医の先生、そして看護師・放射線技師をはじめとするすばらしいスタッフの方々と充実した医療機器です。

初期研修生活は楽をしようとするればどこの病院であっても楽をできると思います。なぜならまだ本当の意味で人の命を預かっていないから、何をしても自分の責任ではないからです。当然初期研修医は医師としてはまだまだ仮免許段階ですし、わからないこと、知らないことも多いでしょう。ただ、初期研修が終わればそんなことは決して言えないはずです。

というわけで、密度の濃い充実した初期研修生活を私たちとともに送ってみませんか？私は自信を持って大阪警察病院をあなたの初期研修先に薦めます。是非一度見学に来て雰囲気を感じてみてください。

F.Y (平成 25 年 4 月初期研修開始)

学生の皆様、HP を見て頂き有難う御座います。

自分自身、研修医としてはや半年が経ちました。学生の頃、この病院に見学に来させて頂いて、一番感じたことは医師、コメディカル含め、みんなの雰囲気がとても良く、勢いを感じました。今、学生のみなさんは色々なところで実習していると思います。研修先病院を選ぶ一つの考え方として、実習から今度は働き始めた時、働き始めるとわからないことだらけですが、その一人ぼっちな状況で周りに助けを求めることができるのか、協力して仕事をすることができるのかということはとても大切だと思います。この病院はコメディカルのやる気、医師のやる気が非常に高く、困ったときに助けてくださる人、教えてくださる人たちが多々いらっしゃいます。今思い返せば、雰囲気が良いことを魅力に感じたのは、そういう意味でも仕事を一緒にしたい、頑張ることができると思ったからだなと思います。

そして、実際に仕事を始めてみて、やはり ER で研修を積むことができる大切さを感じました。学生の頃は、ER はためになると言い聞かされていましたが、正直言って ER とはなんなのか？どんな経験をできるのかもすっかりとはわかっていませんでした。しかし、研修す

の中で、まず目の前の患者さんに確定診断はすぐにはつかないけれども、適切に、患者さんにとって一番良い方向に向かう初期対応ができる医者になりたいと思った時に、ER で全くまだ原因がわからない中でできるだけのことを考え、行う、それを繰り返して、次に生かし経験を積めることは病棟のみで見るとはるかに経験多く、とても貴重なことだと感じました。

以上のことに加えて、この病院は頑張っている上級医の先生方が多々います。自分自身、尊敬し、そうなりたいと思っている先生方がおり、その姿、勉強の姿勢を見て、自分も気を引き締め、頑張ることができます。そして、そういう先生方は、僕ら研修医が一生懸命頑張っている姿を見れば、必ず教えてくださり、プライベート含め面倒を見てくださいます。この病院の雰囲気は自分に合っていると思った際はぜひ来てください。同期にもそういう人たちが集まってきます。あれこれ考えるより、まず大阪警察病院に来てみてどうなのか感じていってほしいと思います。ぜひ一度見学に来てくださることをお待ちしております。

E.U (平成 25 年 3 月初期研修修了)

学生の皆様方、大阪警察病院ホームページを見ていただきありがとうございます。こんな文章を読んでいるということは、多少なりとも将来について、初期臨床研修について不安を抱いていることかと思えます。研修うまくやれるだろうか、どんな病院がいいのかしら、将来立派な医師になれるのかな、などなどお悩みかと思えます。大丈夫です。大阪警察病院には、あなたが頑張るための素晴らしい環境が用意されております。私は大阪警察病院で 2 年間の初期臨床研修を終え、現在も大阪警察病院整形外科医として後期研修生活を過ごしています。2 年間で医師としての基礎を学ばせて頂きましたが、それはやはり ER での経験が大きかったと思います。

ER では 1 年目の初期研修医が主にファーストタッチを担当するため、診察手技や鑑別診断の考え方、患者様の悩みや不安を解決するような上手な説明などが身につきます。もちろん、書籍や文献を読むことでそれらを完璧に習得してしまう方もいらっしゃると思いますが、あいにく自分は要領が悪く座学が苦手であったため、このような臨床実地での経験により成長するところが大きかったように思います。ER 診療を通じて、重症患者様の対応をしたり、数多くの症例を経験したり、努力しただけの経験値が得られることでしょう。

もちろん ER 当直が始まったばかりは右も左もわからぬ状態で、不安で胸がはちきれそうでした。実際、1 年目の 4 月に目の前の患者様が急に痙攣して泡を吹き、それを診察していた私は何をすべきかもわからず泡を食っていたことがありました。おさまらぬ痙攣、下がる酸素飽和度。もう自分の方が緊張で死んでしまうのではないかとさえ思いました。そんな場面に 2 年目の先生が落ち着いてバッグバルブマスクを持って颯爽と登場された時は、その先生が輝いて輝いて見えて仕方がありませんでした。

そのように、上の先生方が見守ってくれるなか自分の能力を伸ばすことができます。

そして、時がくれば自分が後輩の医師を指導することでまた多くを学びます。このような繋がりが年々綿々と紡がれていることを、特に ER 診療で実感すると思います。

あなたも一緒にその『和』に加わりませんか？

少しでも興味を持って頂けたならばまず病院見学にお越しください。希望科が決まっていなければ ER センターを見学に来ていただければいいと思います。まずは私たち研修医と話をしましょう！深く考えるのはそれからでも遅くないと思いますよ。

K.Y (平成 25 年 3 月初期研修修了)

2 年間で振り返って

「この病院を志望した理由は？」

「ER に力を入れており、初期臨床研修医が主体となって診療に当たっているとお聞きしており、プライマリケアをしっかりと身につけ、医師としての基盤を築くのによい病院だと思いました。また、実家が近くにあるので、忙しい研修生活を送るにあたり私にとっては非常に恵まれた環境にあると思います。」などと答えたように思います。そうは言ったものの本心は 90% くらい家から近いことが理由でした。もともとの性格はあまり積極的でなく、人付き合いも苦手なので、このような活気のある病院で、しかも当直の ER 診療をしなければならなくなると、不安な気持ちでいっぱいでした。

今、2 年間の研修を振り返ると、この病院で研修してよかったと思います。一次・二次救急としてプライマリケアを研修するにあたって、環境面で大変恵まれています。当直中は救急車のファーストタッチができ、救急外来の初期診療に当たり、まさに実践力の身につく研修を行うことができました。ER も初めは、たくさん勉強することもあり本で勉強することと実臨床は大きく異なることもあり大変でしたが、1 年目のときは 2 年目・3 年目、2 年目でも 3 年目以上の先生方が細かく指導して下さり、必ず上級医のバックアップがある状況でしたので安心でした。また、各科の先生方も当直しておられるのでいつでもコンサルトでき、検査も夜間であっても MRI 撮影が可能など日中とほぼ同様の検査ができる環境が整っています。恵まれた環境にあるということは、より重傷な患者さんを診られるということであり、一つ一つ行う検査にも患者さんに対する責任は大きくなっていくと思います。時にはしんどいこともありましたが、それが原動力となって 2 年間で乗り切れました。まだまだ勉強することはたくさんありますが、この 2 年間で学んだことは非常に大きいと思います。当直のみならず大阪警察病院にはもっとたくさんの魅力があります。私は当初、消極的な気持ちでこの病院を選びましたが、本当に警察病院で研修できてよかったと思います。どんどん色々なことをやりたいと思っている aggressive な方はもちろん、本当に自分にできるのだろうか迷っている方も是非この病院で研修してもらいたいと思います。この 2 年間で得られるものは非常に大きいです。

あとはこの病院はコメディカルの方がとてもよく働いています。看護師・放射線技師・ま

た様々な検査に携わる方々、ソーシャルワーカー、事務など様々な職種の方が病院内で働いており、非常に **aggressive** に仕事をこなしておられます。そのおかげで実際の仕事の雑用が少ない分、臨床研修により多くのエネルギーを注ぐことができたと思います。コメディカルの方々には本当に感謝しています。2年間ありがとうございました。

T.K (平成 25 年 3 月初期研修修了)

私はこの警察病院で 2 年間研修させていただきましたが、本当に楽しく充実した日々を送ることができました。

研修施設を決めるにあたって、いくつかの病院に見学に行きましたが、警察病院は圧倒的に他と違う、生き生きとした病院の雰囲気を感じ取ることができたことを覚えています。指導医の先生の熱心さ、研修医のレベルの高さ、仲のよさは少し見学に行っただけでもわかりますし、忙しい病院にも関わらず、皆が楽しそうに働いているのが印象的でした。

晴れて警察病院で研修することとなり、4 月から当直も始まりましたが、最初は緊張と戸惑いの連続でした。一人では対処できないこともたくさんありますが、上級医にはいつでも相談できる環境であり、上級医だけでなく、他科の先生、技師さん、看護師さんの方々も非常にフットワークが軽く協力してくださるので、病院スタッフの温かさを感じる毎日でした。症例数が多いので、それだけでもたくさんの体験ができたことはもちろん、患者さんへの接し方、治療方針、スタッフへの気配りなどの多くのことも学ぶことができました。何度も落ち込んだり悩んだりしましたが、同じ研修医や上級医に励まされ、時には飲みに行ったりもして過ごした 2 年間はかけがえのないものです。

医局人事で 3 年目から警察病院以外の病院になりましたが、私自身この病院で研修できたことを誇りに思いますし、この経験が後の医者人生に大きく関わってくると思います。ぜひみなさんにもお勧めしたいです。